

ダイヤモンドバック エナジー (FANG)

【セクター】 エネルギー

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

テキサス州に本社を置く独立系のエネルギー会社です。テキサス州とニューメキシコ州にまたがるパーミアン盆地（米国における主要生産地の一つとして知られています）で原油・天然ガスの探鉱や開発などを行っています。生産に占める割合は原油が約60%、天然ガス液と天然ガスが各20%です（2021年12月期）。確認埋蔵量は17.9億石油換算バレルで、原油が約52%、天然ガス液と天然ガスが各24%です（2021年12月末）。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

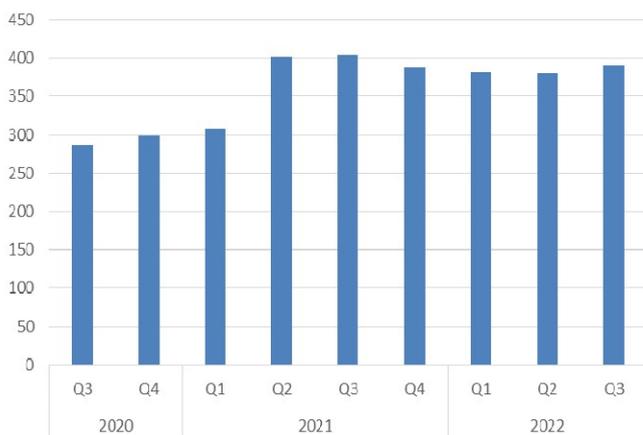
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.12期	2,813	540	3.42	1.53	55.6	-41.0	55.6
21.12期	6,797	1,988	11.21	1.95	68.1	20.9	57.8
22.12期（予）	9,519	4,424	24.97	-	83.3	32.4	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

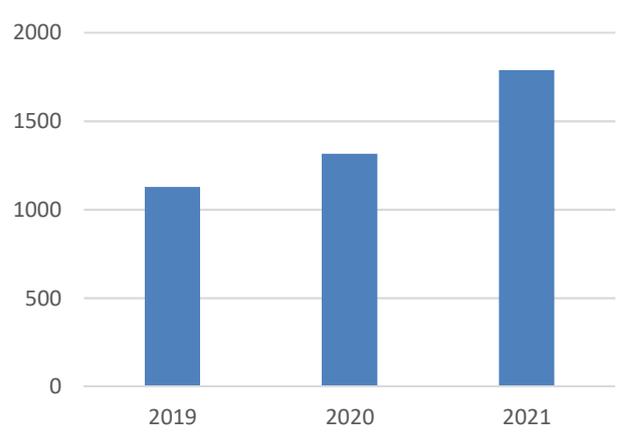
【主要指標】

生産量（石油換算千バレル、日量）



（出所）BloombergよりSBI証券作成

確認埋蔵量（石油換算百万バレル、12月末）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

エネルギー高の恩恵で業績は好調です。買収にも力を入れていて、2021年に同業のキューイーピーリソース、2018年にはエナージェンを買収しました。原油・天然ガス・天然ガス液の生産量（石油換算）は2019年12月期の1.0億バレルから2021年12月期には1.4億バレルに拡大しています。確認埋蔵量も増加傾向にあります。低炭素経営にも取り組んでおり、2024年の温室効果ガス排出量を2019年比で半減させる目標を掲げています。

【見通し・注目点】

2022年7-9月期はEPSが前年比2.2倍の大幅増益となり、市場予想を上回りました。平均価格は原油が同32%高、天然ガスが同93%高、天然ガス液が同10%高でした。なお、株主還元として配当2.26ドル（通常配当0.75ドル、変動配当1.51ドル）を発表しました。今回の配当が継続すると仮定して年間換算すると（2.26ドル×4回=9.04ドル）、配当利回りはおよそ5.6%の計算になります（2022年11月17日終値161.78ドル）。自社株買いは4.7億ドル実施しました。予想PERは約6倍です。アナリストのコンセンサス目標株価は180.86ドルです。堅調なファンダメンタルズと好配当銘柄としての注目等から、株価は52週高値圏で推移しています。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。